

# 令和5年 第12回奈井江町教育委員会会議録(第1日)

招 集 年 月 日	令和5年12月12日		招 集 場 所	役場 委員会会議室		
開 会 日 時	開 会	令和5年12月19日	午前 11 時 04 分			
閉 会 日 時	閉 会	令和5年12月19日	午前 12 時 00 分			
応 招 委 員  出 席 4 名  欠 席 1 名	教 育 長	相 澤 公	○	委 員	三 原 新	○
	職務代理者	堀 美 鈴	○	委 員	矢 萩 優 子	○
	委 員	林 知 孝	×			
議 事 出 席  職 員	参 事	松 本 正 志	文 化 振 興 係	高 田 基	傍聴人  0人	
	教育支援係 係長	井 上 圭 世				
	文 化 振 興 主 幹	大 久 保 雅 子				
会 議 に 付 し た  議 事 案 件	号 数	件 名			可否区分	
	報告第1号	教育長行政報告			承認	
	報告第2号	奈井江町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令について			承認	
	議案第1号	令和6年度教育費予算(案)について			可決	

## 令和5年第12回奈井江町教育委員会議事録

	<b>1. 開会 11:04</b>
松本参事	第11回教育委員会を開催します。教育長挨拶以降、進行についてよろしくをお願いします。
相澤教育長	<b>2. 教育長挨拶</b> 総合教育会議お疲れ様でした。引き続き委員会の会議を始めます。
相澤教育長	それでは次第の3番目、11月28日の会議録の承認です。説明を願います。
井上係長	<b>3. 前回（令和5年11月28日）会議録説明</b>
相澤教育長	質問等ありますか。
委員	ありません。
相澤教育長	承認とします。
相澤教育長	<p><b>4. 報告 報告第1号 教育長行政報告</b></p> <p>1ページをご覧ください。12月7日、文化ホールで教育の明日を考える集い兼奈井江町PTA連合会研究大会を開催しています。高校からは、日頃の活動状況のほか、動画形式でプロジェクトマップのような、子どもたちがプログラムしたものが紹介されました。また、学校祭の時に、やすらぎの家の前で予定した「よさこい」が、雨で中止となったことから、人数もコンパクトでしたが会場内で「よさこい」が披露され、良かったと思います。</p> <p>引き続き、元HTBアナウンサーの佐藤麻美さんの講演が行われています。改めて、子どもたちに対する食育、食を通じた子育てなどで、お母さんからの声かけが大切であることを再認識したところです。</p> <p>12月10日、今年の4月に開校した「まおい学びのさと小学校」で行われた教育フォーラムに、私と井上係長が参加しています。</p> <p>この小学校が、どういう思いで開校し、普段どういう取り組みをしているかなど、地域の人に知っていただく内容で開催されています。</p> <p>私のような教育関係者の他に、学校の先生や大学の先生、実際に子どもを通わせている保護者のほか、地域の人など全体で100人近くの方が来校していたと思います。校長先生の話聞いた後、10人位のグループにわかれて、細かく話を聞かせてもらう機会がありました。</p> <p>私については、5月の全国教育長会総会があった折に、川崎市子ども夢パークを見学しておりますが、学びのさと小学校も夢パークも、子どもの監視だとか、子どもの意に反した行動だとかではなく、子どもが元々持っているものを自由に伸ばそうとしている所です。</p> <p>子どもの成長を阻害することなく支え、見守り、伸ばしていこうとするところを、二つの施設で見させてもらいました。</p> <p>夢パークについては、単に場所だけ提供しているところなのかと思いつながら見ていましたが、代表の西野さんからいろいろと話を聞かせてい</p>

相澤教育長

ただいた後、施設内を案内してもらいました。園内にあるツリーハウスには、梯子がかかかっていて自分たちで登るのですが、1段目の梯子は足をかけるところが高く、そこを上がらないと上に登れないのですが、小さな子が登れないように子どもたち自身で安全対策を図っています。また、園では「怪我と弁当」は自分持ちという基本的な考えを持ち、作業等でのケガは親が病院に連れて行きます。どうしても親が来れない時には園が対応しているなど、「ななかま」の「鳥の巣箱づくり」とも繋がっていると思っています。また、夢パーク自体は自由に遊べる施設ですが、中には不登校の子どもたちの施設もあります。不登校については、家庭環境などもありますので、食事の提供や指導員の方も何人か常駐し勉強を支援するなど、片や自由で、片や少し手厚くしている施設となっています。このほか印象的であったのは、施設内にスタジオがあり、音楽や仲間作り、発表させることなど、音楽自体がストレス発散になるということをお話していました。音楽に関係するスタジオなどの施設があるのがすごく良いとお話していたことを思い出しながら「まおい」のフォーラムに参加していました。

今年、「まおい学びのさと小学校」が開校し、1年生の子どもたちは、初めて通う学校がこの小学校、そして今4年生までいますが、元々、公立小学校に通っていた子どもが、親の考えなどから転校をしています。1年生は、学校はそういうところと思うので、一日中生き生きと生活しているのですが、2年生から4年生は従来の学校の経験があるので、春はとにかく戸惑い、毎日帰ってきたら疲れたという感じだったみたいです。今は慣れてきたようです。一緒にいた保護者に話を聞くと、子どもたちは毎日、万歩計で2万歩ぐらい動いているそうです。授業も映画で見た通り、国語・算数・理科・社会ではなく、プロジェクトと言って、演劇や調理、地域探求、あともう一つプロジェクトチームがあり、2年生から4年生まで混ざりながら、4つのプロジェクトに子どもたちが参加しています。

その他、言葉の授業時間と算数計算的な授業時間があります。大学の先生が私の隣にいて、算数はどうなっているのかという質問をされましたが、算数の授業にも関わりますが、子どもたちは買い物に行くため、お金の勘定をします。お金は、絶対、間違えてはいけないと思うため、3桁は当たり前となっているようです。2年生や3年生、1年生も3桁の足し算、引き算、普通にできています。普通の公立小学校では、そのような計算は3年生や4年生からと思いますが、1年生の段階から3桁の計算ができています。目の前に10円が10個あったら100円、50円のものに100円出したら50円のお釣りが出るなど、生活に根ざしながら勉強し、子どもたちの中でも理解がされているということでした。

教科書については、国から無償で配布されるので、子どもたち全員が持っていますが、基本的には使っていません。ある時、1年生か2年生の子どもが教科書を思い出し、算数の問題が一杯載っていて

相澤教育長	<p>「これはいい問題集だ。僕これやろう」と問題を解く、調理をする時に偶然、教科書を思い出した上級生の子が、家庭科の教科書に料理の作り方があり「とても綺麗に整理されている。これはいい」と、使うこともあったそうです。教科書の使い方も問題集としての使い方など、子どもたちの思いで使う方法もあると思ひ話を聞いていました。</p> <p>映画を見た時も話をしたと思ひますが、すべからく明日からとか、来年から奈井江で出来るとは思ひていませんが、面白い学びの仕方だと思ひています。このエッセンスを、次年度や次年度以降に9年間の学びを検討する中で議論をしていきたいと思ひています。</p> <p>11日、中学校でインフルエンザにより2年生の学年閉鎖をしています。また、1年生が今日まで、インフルエンザで学級閉鎖しています。</p> <p>以上が行政報告になります。</p> <p>何かご質問はありますか。</p>
委員	ありません。
相澤教育長	それでは報告第2号について説明をお願いします。
松本参事	<b>報告第2号 説明</b>
相澤教育長	空知ではありませんが、先生たちの飲酒運転が後を立たない状況にあり、北海道教育委員会がしっかり対応していくことから、道教委の要綱改正に則って、奈井江町についても改正を行うものです。
堀委員	自家用車で学校の用事で出かける時のことですか。
松本参事	自家用車を公用で使用した時の対応となります。
三原委員	通勤ということではないのですね。
松本参事	学校に一度来て、そこから研修や出張に行く場合となります。
相澤教育長	その他、質問等ありますか。
委員	ありません。
相澤教育長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p><b>5. 議事 議案第1号</b>について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>参事～議案読み上げ</p> <p>○教育支援係分～井上係長説明</p> <p>○文化振興係～大久保主幹説明</p>
相澤教育長	これを基礎に予算要求していくことになり、確定ではありません。ご質問とか確認したいことはありますか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、議案第1号について、可決いたします。
相澤教育長	<b>6. その他</b> について説明をお願いいたします。
事務局	<p>連絡事項</p> <p>○教育支援係分～井上係長説明</p> <p>大谷翔平グローブ寄贈・・・小学校に3個寄贈される。</p> <p>届いたら情報共有させてもらう。</p> <p>○文化振興係分～大久保主幹説明</p>

相澤教育長	<p>※参事～夏休みの延長について</p> <p>今後、エアコンの整備を予定。特別活動等の観点から現 50 日の変更は行わない。近隣、規則上改正する自治体もあるが、実際に延長するかは未定。給食について、最低 250 食の確保は可能なので問題はない。</p> <p>※次回開催日</p> <p>令和 6 年 1 月 23 日（火）午後 1 時 公民館</p>
相澤教育長	<p>先の総合教育会議の中で、全国学力テストの成績を上げることが定住に繋がるのではないかという話がありました。実際に道内で毎回成績が良いからと、移住者が沢山きているという状況はないと思っています。「ななかま」では、“わかった”、“勉強できる”という楽しさを体験するコンセプトを持ち運営をしています。一律、全国学力テストの点数の低い子を高くするとか、これから町の平均を全国平均まで上げようという趣旨ではありません。教育委員の意見を聞いていると、そこにテコ入れを行うようにも聞こえました。</p>
三原委員	<p>給食費に代わる魅力とした時、「ななかま」があり、学力アップに繋がれば、魅力にも繋がるのではないかと思ひ話しをしました。「ななかま」の成果を何で検証するのか、という意味で話をしました。</p>
堀委員	<p>保護者の意識も大切です。親学セミナーをしても参加者が少ないということや、親が一生懸命にならないのに、行政が一生懸命行っても意味がないと思います。</p> <p>総合教育会議の中で、転入者が増えるような施策で教育分野に関わらず意見を述べて欲しいということでしたが、私たち教育委員の立場で教育以外のことを述べてもという印象がありました。</p>
相澤教育長	<p>現在、町民懇談会を開催し、色々と町民の意見を聞いています。</p> <p>総合教育会議の機会も活用し、教育委員という立場以外に、町民という立場でも幅広く意見を聴けたらという思いからです。</p>
三原委員	<p>先ほどの保護者の話で、私が強く感じたのは、保護者は部活動の関係では一生懸命になります。仕事が忙しくても、何かあれば仕事を休んでも助けあうなど、団結する時がある。それを少しでも勉強に向けられたらと思います。部活動は、明確に勝ち負けがあるからなのではないでしょうか。</p>
相澤教育長	<p>部活動は、ある程度設定されているからかもしれません。</p>
矢萩委員	<p>自分事として考えられるかどうかということかもしれません。</p>
堀委員	<p>成績が上がってくると、親も本気になるかもしれません。</p>
相澤教育長	<p>「まおい学びのさと小学校」には、きのくにこどもの村学園の堀校長も来ていて話をしていますが、この学校に通わせる保護者の中には成績を気にする方も多く、その質問がされた時、偶然、学園の卒業生で高校に通っている生徒が通り話を聞いたところ、「高校の勉強は楽で仕方ない。高校の勉強は、ただ教室で先生の話聞いていけばいいから。」と言っていたそうです。その時点で、保護者の方はとても驚かれていたそうです。</p>

相澤教育長	映画の中でも触れていたかと思いますが、概ね 300 人程度の生徒数規模で平均して 23 位以内ということでした。学びのアプローチの仕方は違っても、普通の公立学校で学んできた子どもより、理解と応用を実践してきているので、成績にも結び付いているとのことでありました。先ほど道内で全国学力テストの成績が良い自治体の話をしましたが、きっとそういうところは、全国学力テスト対策をしていると思います。
堀委員	奈井江町の全国学力テストの成績が、もう少し上がって欲しいと思います。 長沼には、普通の公立の学校もあり、そして学びのさと小学校もあり選択ができることから、奈井江町で取り組もうとすることで違いがあると思います。奈井江の学校が教科書を使わない、体験型教育の方向に舵を切った時、それしか選択肢がなくなるため、保護者としても勇気がいると思います。
相澤教育長	数年後には、中学校も創るということでした。
井上係長	今の 4 年生が中学校に上がるタイミングで中学校を開設する予定とのことでした。
堀委員	小学校を特殊な形で運営していると、中学校での感覚も必要となります。
井上係長	「まおい学びのさと小学校」のグループワークで話を聞いた感覚では、小中学校のうちには自由な形での勉強で総合的に伸ばす。いずれ高校になれば、必然と通常の高校に進学していくので、義務教育期間は色々体験をという考えの方が、通学させている印象でした。これに関しては、賛否両論ありますし、何が正解ということではないかと思います。
矢萩委員	教育の結果は、すぐには出ません。数年後にしかわからないです。
堀委員	入学者は、長沼以外の子が多いのですか。
井上係長	全体の割合はわかりませんが、私のグループの方は、苫小牧から通学されていました。お母さんも、学校の近隣で看護師の仕事をしていて、子どもと一緒に通っているということでした。遠方から通学してくる子どもも多いからなのか、この学校の開始は 9 時からとなっていて、普通の公立学校よりは遅めの開始となっています。 実際には、転校された児童の方も何人かいるということも話しがされていきました。理由としては、通学の距離であったり、学びの方法が合わなかったりということからでした。
堀委員	先生たちも素晴らしく、そういう教育をしようとするのですね。
相澤教育長	思いがあつてのことです。
井上係長	もともと公立学校の時に、これでいいのだろうかという思いがあり、「まおい学びのさと小学校」の方針に共感して携わっているということでした。
相澤教育長	先生もついていけなくて辞められる方もいるそうです。
矢萩委員	先生も、意識を変えないと対応できない。既存の考えでは難しい。

井上係長	最初のうちは、「きちんと教えないと不安という」思いとの葛藤もあったようです。子どもたちと接していくうちに、そうでなくてもいいことに気づかされ、自分たちの意識も変わってきたと話されていました。
相澤教育長	公立で行うとなると、先生も異動があり難しい。
堀委員	不登校のフリースクールというのはどうでしょうか。そのような子どもも増えているということでした。町外からも来たりするかもしれません。
矢萩委員	恵庭など、学校に隣接して設置している自治体もあります。
堀委員	奈井江町でも不登校の子どもが増えているということなので、何か対策は必要です。スクールカウンセラーは、どのようなことをしているのですか。
井上係長	子どもや保護者の方の話を聞き、受け入れて、寄り添っていただいていると思います。何を悩んでいるのか、その子その子により対応は違うと思います。
矢萩委員	来年度の施策として、回数を増やすのであれば、相談しやすくなり良いと思います。
矢萩委員	学校に來れなくなった子どもの理由は様々で、本当に難しいと思います。今のカウンセラーの方が良い先生なのであれば、引き続き来てほしいと思います。
相澤教育長	その他、何か質問等ありますか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、第12回教育委員会を終わります。 お疲れ様でした。